



映像で学ぶ火山噴火による被害と対策

内閣府（防災担当）

【趣旨】

平成26年9月に発生した御嶽山の噴火は、死者・行方不明者63人という、大きな被害を出しました。この教訓等を踏まえ平成27年に改正した活動火山対策特別措置法において、火山に登山する際には火山情報の収集等に努めることとなりました。また、火山周辺の集客施設等（避難促進施設）においては、利用者の噴火時等の安全対策のための計画を作成することとなりました。

内閣府では、これらの火山防災対策について関係者の理解を深め、自助・共助の取組みを促進すべく映像資料を作成しました。登山者の皆さまや集客施設等の皆さまには本映像をご覧いただき、噴火時等の安全対策に役立てていただくとともに、自治体の皆さまにおかれては講習や訓練等にご活用ください。

内閣府防災情報のページ(http://www.bousai.go.jp/kazan/eizoshiryo/tozansha_shisetsu.html)から視聴が可能です。

【内容】

火山が噴火するとどのような現象が発生し、どのような被害をもたらすのか、CGと実際の映像を交えて解説します。また、噴火に備えて必要な事前対策、噴火に遭遇した際の行動などについて合わせて解説します。

～イメージ～

噴火で警戒すべき現象



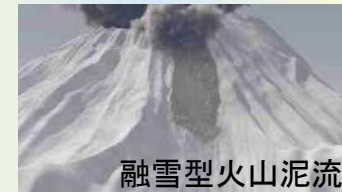
大きな噴石



火山灰



火砕流




融雪型火山泥流

登山者編

登山中に噴火に遭遇した際の行動、火山情報の収集や登山届の提出等の事前対策について解説していく

火山登山者向けの情報提供ページ(気象庁)

日本山岳・スポーツクライミング協会副会長 尾形好雄さんによる解説

避難促進施設編

避難促進施設における利用者の噴火時等の安全対策のための、事前の確認事項や日々の備えについて解説していく

施設位置や避難経路などの確認




洞爺湖有珠火山マイスター 川南恵美子さんによる解説